

## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月8日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 大谷工業

コード番号 5939 URL <http://www.otanikogyo.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝崎 安宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理グループマネージャー (氏名) 阿部 昇 TEL 03-3494-3731

四半期報告書提出予定日 平成23年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,506	3.5	127	△3.8	156	2.7	81	5.2
23年3月期第2四半期	2,422	△3.9	132	△16.5	152	△8.3	77	△30.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	9.29	—
23年3月期第2四半期	8.83	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,993	1,524	38.2
23年3月期	4,209	1,467	34.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 1,524百万円 23年3月期 1,467百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,430	△3.1	250	△26.8	285	△25.1	180	△7.1	20.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	8,800,000 株	23年3月期	8,800,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	5,608 株	23年3月期	5,608 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	8,794,392 株	23年3月期2Q	8,795,390 株
----------	-------------	----------	-------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(7) 重要な後発事象 .....	9
5. 補足情報 .....	9
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響により寸断されていたサプライチェーンの復旧により持ち直しの傾向が見られるものの、欧米諸国の金融不安やそれに伴う急激な円高等、先行き不透明な状況の中で推移しました。また、今夏に実施された大口需要先に対する電力の使用制限による生産性の低下は、鋼材価格の上昇傾向と共に原価上昇の要因となり、雇用情勢についても完全失業率が高水準で推移する等、依然として厳しい状況が続いております。

当社はこのような状況の中、各事業で拡販に努めた結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,506百万円と前年同四半期比84百万円(3.5%)の増加となりました。

利益面につきましては、売上総利益が545百万円と前年同四半期比でほぼ同額を確保、営業利益は127百万円と前年同四半期比5百万円(△3.8%)の減少、経常利益は156百万円と前年同四半期比4百万円(2.7%)の増加、四半期純利益は81百万円と前年同四半期比4百万円(5.2%)の増加となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①電力通信部門

電力通信部門においては、売上高は1,991百万円と前年同四半期比36百万円(1.9%)の増加となりましたが、セグメント利益は272百万円と前年同四半期比7百万円(△2.7%)の減少となりました。

その内訳として架線金物では、電力業界において震災の影響により延期されていた工事が動きだしたものの、今年度の設備投資の全面的な見直しが行われたため低調に推移しました。また、通信業界においては、主に地デジ関連資材と震災の復旧工事材料の需要がありましたが、一般的に弱含みにあります。

一方、鉄塔・鉄構については、北陸電力管内での大型鉄塔改修工事によりほぼ前年同四半期並の売上を確保しました。

## ②建材部門

建材部門においては、売上高は514百万円と前年同四半期比47百万円(10.2%)の増加となり、セグメント利益は18百万円と前年同四半期比6百万円(54.8%)の増加となりました。

建設業界においては、依然として大型の設備投資が低調に推移しており、工事量も落ち込んでおります。当社においては、大型物件の施工が進んだことにより売上を伸ばしましたが、受注から施工までにはタイムラグがあることから、鋼材価格の値上がり利益を圧迫し、採算確保が難しい状況にあります。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

## (総資産)

総資産は、前事業年度末に比べ216百万円減少し3,993百万円となりました。これは、主に売上債権の回収による減少168百万円及び法人税等の支払や設備未払金の支払等により現金・預金が202百万円減少したことと、震災対応等のための在庫の増加193百万円によるものです。

## (負債)

負債は、前事業年度末に比べ273百万円減少し2,468百万円となりました。これは、主に仕入債務122百万円、設備未払金70百万円、未払法人税等47百万円、未払費用25百万円の減少によるものです。なお、借入金は500百万円で変動はありません。

## (純資産)

純資産は、前事業年度末に比べ57百万円増加し1,524百万円となりました。これは、四半期純利益を81百万円計上したことによる増加と、配当金支払による減少26百万円によるものです。この結果、有利子負債比率(D/Eレシオ)は0.3倍と良好な水準にあります。

## (3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月17日に発表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	660,724	458,472
受取手形及び売掛金	1,422,714	1,253,872
商品及び製品	339,106	463,026
仕掛品	289,236	345,039
原材料及び貯蔵品	129,168	142,849
繰延税金資産	72,712	58,618
その他	13,720	18,417
貸倒引当金	△428	—
流動資産合計	2,926,955	2,740,295
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	201,132	192,610
機械及び装置(純額)	293,356	269,303
土地	516,685	516,685
リース資産(純額)	46,732	37,243
その他(純額)	50,352	51,596
有形固定資産合計	1,108,259	1,067,439
無形固定資産	12,573	35,289
投資その他の資産		
投資有価証券	96,032	78,374
その他	79,819	84,619
貸倒引当金	△14,441	△13,000
投資その他の資産合計	161,409	149,993
固定資産合計	1,282,242	1,252,722
資産合計	4,209,197	3,993,017

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,217,273	1,095,263
短期借入金	500,000	500,000
未払費用	187,598	161,950
未払法人税等	104,365	56,682
その他	141,209	89,780
流動負債合計	2,150,446	1,903,677
固定負債		
退職給付引当金	430,763	439,728
役員退職慰労引当金	58,832	61,856
リース債務	28,204	19,406
その他	73,173	43,387
固定負債合計	590,972	564,378
負債合計	2,741,418	2,468,056
純資産の部		
株主資本		
資本金	655,200	655,200
資本剰余金	221,972	221,972
利益剰余金	593,426	648,726
自己株式	△1,045	△1,045
株主資本合計	1,469,552	1,524,852
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,773	108
評価・換算差額等合計	△1,773	108
純資産合計	1,467,778	1,524,961
負債純資産合計	4,209,197	3,993,017

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	2,422,223	2,506,258
売上原価	1,877,571	1,960,887
売上総利益	544,651	545,371
販売費及び一般管理費	412,532	418,316
営業利益	132,119	127,054
営業外収益		
受取利息	186	168
受取配当金	2,961	2,120
作業くず売却益	16,158	21,751
不動産賃貸料	3,900	3,900
雑収入	4,781	7,663
営業外収益合計	27,987	35,603
営業外費用		
支払利息	6,901	5,300
雑損失	400	485
営業外費用合計	7,302	5,785
経常利益	152,804	156,873
特別損失		
固定資産除売却損	18	764
投資有価証券評価損	—	9,880
投資有価証券売却損	—	1,908
環境対策費	2,844	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,975	—
特別損失合計	8,837	12,553
税引前四半期純利益	143,966	144,320
法人税、住民税及び事業税	66,235	51,613
法人税等調整額	63	11,023
法人税等合計	66,298	62,637
四半期純利益	77,668	81,683

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	143,966	144,320
減価償却費	68,330	71,027
貸倒引当金の増減額(△は減少)	403	△1,870
退職給付引当金の増減額(△は減少)	11,223	8,965
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,024	3,024
受取利息及び受取配当金	△3,147	△2,288
支払利息	6,901	5,300
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,975	—
有形固定資産除売却損益(△は益)	18	764
投資有価証券評価損益(△は益)	—	9,880
投資有価証券売却損益(△は益)	—	1,908
売上債権の増減額(△は増加)	△13,005	168,842
たな卸資産の増減額(△は増加)	△126,301	△193,404
仕入債務の増減額(△は減少)	161,304	△122,009
その他	△28,456	△53,318
小計	230,236	41,142
利息及び配当金の受取額	3,148	2,289
利息の支払額	△5,977	△5,357
法人税等の支払額	△44,320	△99,797
営業活動によるキャッシュ・フロー	183,087	△61,722
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△38,173	△113,878
投資有価証券の取得による支出	△3,168	△1,884
投資有価証券の売却による収入	—	9,710
貸付金の回収による収入	—	1,080
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,342	△104,972
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△250,000	—
配当金の支払額	△21,686	△26,038
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△12,078	△9,518
財務活動によるキャッシュ・フロー	△283,764	△35,557
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△142,019	△202,252
現金及び現金同等物の期首残高	422,201	660,724
現金及び現金同等物の四半期末残高	280,182	458,472

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	電力通信部門	建材部門	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,954,744	467,479	2,422,223
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,954,744	467,479	2,422,223
セグメント利益	280,326	11,819	292,146

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	292,146
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△160,026
四半期損益計算書の営業利益	132,119

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第2四半期累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	電力通信部門	建材部門	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,991,268	514,990	2,506,258
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,991,268	514,990	2,506,258
セグメント利益	272,678	18,294	290,972

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	290,972
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△163,917
四半期損益計算書の営業利益	127,054

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。
- (7) 重要な後発事象  
該当事項はありません。

## 5. 補足情報

- (1) セグメント及び品目別売上高明細、受注高及び受注残高

セグメント及び品目別売上高

(単位：千円)

セグメント及び 品目	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	増 減		
			金 額	率 (%)	
電力通信部門	架線金物	1,512,456	1,471,792	40,664	2.8
	鉄塔・鉄構	465,954	459,838	6,116	1.3
	その他	12,857	23,114	△10,256	△44.4
	計	1,991,268	1,954,744	36,524	1.9
建材部門	スタッド	507,805	465,628	42,177	9.1
	その他	7,184	1,850	5,333	288.2
	計	514,990	467,479	47,510	10.2
合 計	2,506,258	2,422,223	84,035	3.5	

セグメント及び品目別受注高

(単位：千円)

セグメント及び 品目	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	
			架線金物
電力通信部門	鉄塔・鉄構	681,530	620,215
	その他	16,603	33,513
	計	2,194,968	2,173,207
建材部門	スタッド	476,319	664,984
	その他	7,184	1,850
	計	483,504	666,835
合 計	2,678,473	2,840,043	

(注) 金額は販売予定価格によっており、消費税等は含んでおりません。

セグメント及び品目別受注残高

(単位：千円)

セグメント及び 品目	当第2四半期会計期間末 (平成23年9月30日現在)	前第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日現在)	
			架線金物
電力通信部門	鉄塔・鉄構	385,855	368,181
	その他	3,746	11,666
	計	538,390	567,509
建材部門	スタッド	482,304	411,796
	その他	—	—
	計	482,304	411,796
合 計	1,020,694	979,305	

(注) 金額は販売予定価格によっており、消費税等は含んでおりません。